

イノベーション・マネジメント

サマリー

重要であるとする理由	<p>Daigasグループにとって、技術は企業競争力のベースであり、研究開発は最も重要な企業差別化戦略の一つであると考えています。また、デジタル技術を積極的に事業に取り組み、革新的なサービス創造やデータマネジメントの進化、業務プロセスの改革が、事業競争力の向上につながると認識しています。</p> <p>当社グループは、近畿圏において都市ガスを安定的に供給しながら、お客さまの快適な暮らしやビジネス発展につながる様々な新技術の研究開発、実用化に取り組むことで、周辺分野にも事業を広げ、地域とともに発展してきました。</p> <p>今後も環境や社会に配慮した持続可能な開発と成長を実現するため、様々なステークホルダーと協働しながら新しい価値を創造し、多様なメニューや新技術をお客さまに提供していきます。</p>
-------------------	--

	取り組み事項	具体的な取り組み
デジタルトランスフォーメーション(DX)による事業変革	<ul style="list-style-type: none"> データマネジメントの進化 革新的なサービス創造 業務プロセス変革 	<p>方針・推進体制</p> <p>社会や働く環境の激変、お客さまの価値観が変化するなかで価値を提供し続けるため、「変わり続けられる企業グループ」を目指しています。進展めざましいデジタル技術を積極的に事業に取り組み、革新的なサービス創造やデータマネジメントの進化、業務プロセスの改革を加速させます。</p> <p>2022年4月には経営企画本部にDX企画部を設置し、全社委員会「DX推進委員会」にてDaigasグループ全体のDX推進に関し、組織横断的な調整・推進を行っています。</p> <p>2022年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さま価値の変革 グループ総合力を生かした体制・仕組みづくり 従業員価値の変革「Daigas X(Daigas トランスフォーメーション)」 人材育成
研究開発・知的財産	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル実現に資する技術・研究開発 エネルギーの安定供給・保安の確保のための技術開発 新規ビジネス創出のための研究開発 知的財産権の確保および活用 	<p>方針・推進体制</p> <p>「中期経営計画2023」「カーボンニュートラルビジョン」「エネルギー・トランジション2030(ET2030)」に沿って、低・脱炭素社会の実現を目指し、エネルギーの安定供給・保安の確保はもちろんのこと、新規ビジネス創出のための技術・研究開発を推進します。技術開発にかかわる規程等に基づき、技術開発の実施の判断、およびテーマの重要度に応じた適切な予算配分を行うとともに、実施時における進捗のフォローを実施しています。</p> <p>2022年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル実現に向けメタネーションをはじめとする研究開発を推進 保安の確保・向上のための技術開発、新規ビジネス創出のための研究開発を継続推進 事業戦略、技術開発戦略と連携した知的財産権の確保および活用 大阪ガス保有技術と外部の保有技術を積極的に融合・活用し「オープン・イノベーション活動」を推進